

「2023北九州SDGs未来都市アワード」
活動概要及び選考委員による評価

【市民部門】

賞の種類	活動名	活動概要	選考委員による評価
SDGs 大賞	ホップを通じた地域SDGs事業	北九州市内において、ビールなどの原料であるホップを農園だけでなく幼稚園、小学校、大学、市民センターなど市民参加で栽培し、地ビールを醸造・販売、その過程の廃棄物でヘア化粧品やコッペパンの開発・販売等を行い、地域活性化や地域資源循環を目指して活動している。	<ul style="list-style-type: none"> ・生産過程や資源循環において、地域資源を活かしつつ多様なステークホルダーと協働した活動であり、地域活性化にも繋がっている。 ・環境・社会・経済全ての側面が揃っており、仕組みが既にできているため、人が変わっても継続していくと考えられる。 ・若松を盛り上げていくという面からも、ぜひ活動の拠点を作り、ビールを楽しんでもらえる場の提供を実現していただきたい。
	響灘ホップの会		
SDGs賞	市場に出せない野菜を中心に、子ども食堂やフードパントリー	若松の規格外野菜を無駄にせず活用する目的から、子ども食堂にて提供、配布すると同時に、子供会がなく子育て世帯の交流が乏しい地域課題の解決に向けて、子ども食堂活動を行っている。	<ul style="list-style-type: none"> ・フードロス削減・子どもの貧困・食への学び（食材や流通システム）など、複数の問題が絡み合った状況を見定めた上で、地域に根差した取り組みがなされている。 ・子ども食堂が地域のコミュニティの場となり、地域が一体となっている。 ・更に企業も巻き込んだ活動となることに期待したい。
	高須子ども食堂カリス		
	地球環境カードゲームマイアースによる子ども向け環境教育事業	地球環境を自分ごととして捉え自ら行動を起こす人々で溢れる社会に貢献することを目的に、地球環境カードゲームマイアース北九州の生態系版を地域の子供向け教材として開発している。	<ul style="list-style-type: none"> ・北九州の生態系に即したカードゲームを作成し、地域の教育現場で活用するというアイデアは魅力的である。 ・多様なステークホルダーと連携・協働に基づく実施体制が整っており、他の地域への横展開が期待できることや実践を通じて、行動の変容及び社会の変容に影響を与えている。 ・北九州市内企業と協働されているが、具体的なアクションを更に行ってもらいたい。 ・ゲームを行った後に、実際のアクションを企画し、より実践的な展開につながることを期待したい。
NPO 法人 SoELa	地域の子供達にマイアースを活用した体験会や環境授業などを行っている。		